

## 木造虚空蔵菩薩坐像

文殊堂内に安置されている虚空蔵菩薩像は、高さ六五センチの寄木造りの坐像である。

「新宮雑葉記」によれば、もと湯峰の本尊で、文殊菩薩と同作といい、宝永四年（一七〇七）再興と記してある。

頭部は古いが、軀の部分は後補のものようである。金属の宝冠や胸飾りをつけている。

所在地 慶徳町新宮字熊野 文殊堂

指定年月日 昭和四十九年二月十四日



## 山崎横穴古墳群

慶徳町山崎のすぐ西側の山の中腹に、数段に並列してあり、明治二十六年十月に発見されたときには、三十七個の横穴古墳が確認された。しかし、その後の土砂崩れなどによって古墳の入口が埋められ、現在ではようやく数個の古墳を数えるほどになってしまった。横穴古墳の大きいものでは、高さ一メートル、幅一・五メートル奥行き二〜三メートルあり、人骨をはじめ、勾玉、鏡、直刀、土器類が多数発掘されたが、現在、当地域には、これらの発掘品は何一つ残っていない。時代的には、古墳時代の後期、六〜七世紀のものと考えられている。

所在地 慶徳町山科字墓東

指定年月日 昭和五十年六月十二日

